

教育実習B	教授 平沢 信康 講師 堤 ひろゆき
-------	-----------------------

1. 授業のねらい・概要

本講義は、教育職員免許取得を希望する学生が必修とされている「事前指導」「本実習」「事後指導」のうち、本実習に備え教育実習Aの確認、実習校での本実習、本実習実施後の事後指導を行うものである。具体的には、各自の実習日誌や学習指導案等実習期間中に作成した資料、各実習校での指導内容に関する報告を基に、各教科・道徳・特別活動並びに学級経営や生徒指導など教科外領域の指導内容に関する検討を行う。これら一連の反省的な振り返りを踏まえ、学校教育を担う教員として必要な基本的知識とそのスキルを再度確認し、教育実習を通して得られた成果と課題を整理する。

2. 授業の進め方

受講者による教育実習に関する報告と検討、並びに担当者のコメントを軸に授業を進める。なお、受講者による報告は、自ら専門とする教科指導に関する事項のみならず、生徒指導や学級経営など、教科外領域における指導事項に関するものも含まれる。

3. 授業計画

1. 教育実習直前ガイダンス（本実習に備えての教育実習Aの確認）	4. 教科外領域指導に関する報告並びに検討、コメント（生徒指導、学級経営等）
2. 「事後指導」の意義と目的（ガイダンス）	5. 総括
3. 各教科指導に関する報告並びに検討、コメント（授業計画、学習指導案等）	※ この間、保健体育：中学校3週間 情報、商業：高等学校2週間の本実習がある。

4. 到達目標

- ・教科指導（授業計画・学習指導案等）・教科外領域指導（生徒指導・学級経営等）に必要な基本的知識とそのスキルを習得していること。
- ・教育実習を通して得られた成果と課題を分析し、整理できていること。

5. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の擬態的な学習の時間

- ・配布資料及び参考文献の読解（30分程度）
- ・グループディスカッションや発表、模擬授業に向けての準備（1～2時間）

6. 成績評価の方法・基準

教育実習成績報告書、平常点、作成物等の総合評価。

- 平常点については、受講者各自の報告内容と提出資料、並びに講義中の学習課題への取組み態度を評価対象とする。
- 作成物については、教育実習日誌を評価対象とする。
- 評価については、実習校からの『教育実習成績報告書』の評価を中心に、出席、平常点、作成物の評価を加えて総合的に行う。

7. テキスト・参考文献

小学館編『新版 教育実習まるわかり』小学館

文部科学省 中学校、高等学校の『学習指導要領』『学習指導要領解説 総則編』

保健体育：文部科学省『中学校学習指導要領解説 保健体育編』2017年

商業：文部科学省、『高等学校学習指導要領解説 商業編』，実教出版，平成26年

情報：文部科学省、『高等学校学習指導要領解説 情報編』，開隆堂，平成26年

8. 受講上の留意事項

学部3年生終了時に、次の二つの「教育実習に関する学内規定」を満たしていること。

- (1) GPA (Grade Point Average) 値が、2.0以上であること。
- (2) 次のいずれか一方を満たしていること。
 - ① 教職に関する科目のGPAが、2.0以上であること。
 - ② 教科に関する科目のGPAが、2.3以上であること。